

# 米沢電協だより

第352号  
令和3年 1月 8日(金)発行



URL:<http://www3.omn.ne.jp/~yokumiai/> E-mail:[yokumiai@ms3.omn.ne.jp](mailto:yokumiai@ms3.omn.ne.jp)

TEL 0238-23-7634 FAX 0238-23-0437

## ～新年「丑年」のご挨拶～



米沢電気工事協同組合  
理事長

新年あけましておめでとうございます。

米沢電気工事協同組合員の皆様におかれましては、恙なく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、常日頃協同組合事業運営にあたり、ご協力・ご理解をいただき、この書面をお借りして御礼申し上げます。

さて、世界中で猛威をふるう新型コロナウイルスの収束の兆しが全く見通し経たないまま、新年を迎えるに至って居ります。世界中で8000万人近い人々が感染し、170万人の死亡者がいる現在、東京オリンピックどころではないと思っているのは私ばかりではないと思います。経済も大切かもしれないが、休みなく働いている医療従事者の気苦労は、医療崩壊が現実のものとなりつつある今日、心配の種が尽きることがない。いずれにしろ、ワクチン接種が全世界の人々に施されて、早急なコロナ禍の終息を願わずにはられません。

激動する国内で我々電気工事業界を取巻く経営環境は、近年大きく変化しています。直近の事ですが、菅総理大臣は2050年までにカーボンニュートラル構想を提唱し、環境汚染状況改め脱二酸化炭素に舵を切りました。また、我が米沢市も追随してゼロカーボンシティ宣言を致しました。これは温室効果ガス実質排出ゼロを目指すことの表明となり、業界にとって追風となると思っております。具体的には、行政機関・民間共LED化が加速し、電気自動車の充電装置も加速度的に増えることが予想されます。さらに住宅においては、ゼロエネルギーハウス（ZEH）も増えてくることでしょう。組合員の皆様には日進月歩技術や知識をしっかりと身に付けるべく、情報の収集・研修を重ね自己研鑽に邁進して頂きたく存じます。

今年の干支は「丑」、十干十二支で言うと「辛丑」(かのとうし)となるそうです。「辛」は草木が枯れ、新しくなろうとしている状態、「丑」は種から芽が出ようとする状態と言う意味があるそうです。子年で蒔いた種が芽を出す時でやり始めたことが少しずつ実を結んでいくイメージと重なります。2021年はコツコツと地道に力を磨いて自分の信じた道を進み、成功を目指す年にしたいものです。

結びになりますが、この一年がご家族共々ご健勝で、災いの無い一年であることをご祈念申し上げると共に、御社のご隆盛をご祈念申し上げ新年の挨拶と致します。

本年もよろしくお願い申し上げます。

\*\*\*\*\*

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

米沢電気工事協同組合・(株)OCE

役員、職員一同



## 2021年 新年を迎えて

東北電力ネットワーク株式会社  
米沢電力センター所長



新年明けましておめでとうございます。組合員の皆様におかれましては、ご家族ともども健やかに新たな年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、新型コロナウイルスに振り回された1年でありました。本来ならば東京オリンピック・パラリンピックの開催で沸き立つ日本であったはずですが、1年延期となってしまいました。また国内外に対して、人の行動に規制または自粛措置がとられ、各種会合は書面開催やオンライン開催になるなど、生活面でも仕事面でもこれまでに経験した事の無いスタイルでの1年となりました。

今年は、延期となった東京オリンピック・パラリンピックが控えておりますし、日本が世界中から注目を浴びる年になるものと思います。なんとか新型コロナウイルスへの対処法が確立され、普通の日々に近づけるよう祈るばかりでございます。

さて、電力業界に目を転じますと、昨年4月に送配電事業が分社化し、新たな体制下で発電事業、小売事業、送配電事業がスタートしました。この分社化によって業務のやり方が一部変更となり、皆様にはご不便をおかけしたのではないかと推察いたしますが、ご理解とご協力により大きなトラブルも無く本日まで経過しております。本紙面をお借りして御礼申し上げます。

2021年は、当面、コロナ禍を意識した活動になるものと推察いたしますが、電気を通じた安全・安心と快適な暮らしをお届けするという私共の使命は変わるものではないと思います。このような時こそ、貴組合と当社が協力し、地域の繁栄と業界の発展に貢献していきたいものだと感じております。お互いの協力と工夫を凝らした取り組みによりこの難局を乗り越えていきたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

最後になりますが、2021年が皆様にとりまして良い1年になりますようご祈念申し上げ、新年を迎えてのご挨拶とさせていただきます。



## 「新年を迎えて」

東北電力ネットワーク株式会社  
長井電力センター所長

新年明けましておめでとうございます。米沢電気工事協同組合の皆さまにおかれましては、ご家族共々健やかに新年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。

また、弊社事業に対しましては、平素より格別のご理解とご協力を賜っております。厚く御礼申し上げます。

さて、昨年 4 月に、東北電力から分社し東北電力ネットワーク株式会社として事業展開し 9 カ月が経過いたしました。皆さまには多くの面でご理解・ご協力とご支援をいただき重ねて御礼申し上げます。この分社化による各種対応箇所の変更等での気づきがありましたら、引き続きご指導、ご指摘くださるようお願いいたします。

昨年は新型コロナウイルスへの対応が大きく影響した一年となり、当事業所としても一部事業計画等を変更せざるを得ない状況でありました。皆さまにとりましても大変な年だったことと思います。

今年も引き続き知恵を出して、適時適切な判断のもと着実に前進してゆかなければならないと思っているところであります。

2021 年も、東北電力グループスローガン「より、そう、ちから。」のもと、より一層皆さまのお役に立てるようより浴い、そして地域に寄り添う活動を展開してまいりたいと思っております。

そして、長井電力センターとしても、これまで同様、使命であります地域における電力の安定供給をしっかりと果たすべく、皆さまからご意見をいただきながら信頼関係を大切に取り組んでまいりますので今後益々のご理解・ご協力をお願いいたします。

本年が、米沢電気工事協同組合様の更なる発展と会員の皆さまにとってご家族を含めた健康、そして希望多く輝かしい一年となりますようご祈念申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もよろしくお願いいたします。

## **1. 労働保険加入の皆様へのお知らせ**

1月は労働保険料 第三期分の納入月になっておりますので、下記締切をご留意頂けますよう、お願い致します。

- 現金（一人親方）：令和3年1月22日（金）まで

## **2. 建設国保からのお知らせ**

健康診断・予防接種などの補助が受けられます！（手続きをお忘れなく！）  
補助内容は下記の通りとなります。

なお、補助申請の際は「領収書」「個人名が記載されている請求内訳」の写しを山形組合までFAXして下さい。

- ◆39歳以下の方・・・7,000円を限度に実費補助

- ◆インフルエンザ予防接種（年1回）

・・・一人当たり2,500円を限度に実費補助

- ◆肺炎球菌感染予防接種（年度内に65歳・70歳になる方）

・・・一人当たり2,500円を限度に実費補助

※「受診券」の利用限度は令和3年1月31日です。

山形組合FAX・・・023-633-0645まで

## **3. 災害速報に係る再発防止について**

東北電力管内で発生した災害について別紙の通りお知らせ致します。  
再発防止に向け関係者にご周知頂き、検討会を実施されます様お願い致します。

## **4. 「建設工事現場に対する一斉監督の結果公表」について**

山形労働局より建設工事現場に対する一斉監督の結果が公表されております。  
詳しくは別紙ご参照下さい。

## **5. 「主任電気工事士研修会」資料同封について**

主任電気工事士研修会で使用する予定でした資料を同封いたします。主任電気工事士になられている方は、必ず資料をご確認下さい。又、技術コンテストの解答は来月号に掲載致します。

# 事業報告

## 【高校生交流会 米沢工業高校】

令和2年12月21日（月）、今年度3回目となる高校生交流会を、青年部会員5名と、米沢工業高校電子情報システム科2年生11名、教諭2名のご参加のもと開催致しました。

業界体験の他、意見交換会を開催し「電気工事で何が一番大事か?」「取っついておいた方がいい資格はあるか?」など次々と質問が飛び、有意義な時間となりました。

お忙しい中ご協力頂きました皆様、事業所様大変有難うございました。



## 電気工事士の 仕事に挑戦!

工高生、技能者と交流

**米沢** 電気工事の現場で働く地元企業の若手社員が高校生に仕事のやりがいなどを伝える「電気工事実演と交流会」が21日、米沢市の米沢工業高（佐藤正校長）で開かれた。電気工事士を目指す2

年生11人が参加し、配線の実技などに挑戦した。置賜3市5町の電気工事業者でつくる米沢電気工事協同組合の青年部会（安藤淳会長）が主催。会員の若手技能者5人が指導した。生徒たちは、階段の照明などで使われる三路スイッチや、LANケーブルを製作。交流会では、勤務形態や資格試験についてなど、積極的に質問した。会員たちは、電気自動車などの普及によって電気工事の仕事の幅が広がっていることや、現場でのエピソードを紹介した。交流会に参加した結城嬢さん（16）は「電気工事のことを深く学ぶことができ、仕事の現場についてもイメージができました」と話した。（阿久津誠）

若手技能者の指導で電気配線の実技に挑戦する生徒ら

米沢市・米沢工業高

（令和2年12月23日 山形新聞掲載）